



2018年9月10日

報道関係者各位

慶應義塾大学薬学部

最先端の質量分析技術を揃えた 創薬イノベーション研究プロジェクトを開始 — 創薬メタボローム研究プロジェクト (iMeC) —

慶應義塾大学薬学部創薬研究センターは、創薬メタボローム研究プロジェクト (Innovative Metabolomics Center for Drug Discovery (iMeC) : プロジェクトリーダー 有田誠教授) を開始し、株式会社島津製作所、小野薬品工業株式会社、日東薬品工業株式会社等と各社テーマごとの共同研究契約を締結し、共同研究を開始しております。

創薬メタボローム研究プロジェクト (iMeC) は、最先端の質量分析技術を揃えたオープンイノベーションの研究環境を整え、創薬シーズの探索・評価、新技術開発および人材育成の場とすることを目的としており、今回共同研究契約を締結した企業をはじめとする外部アカデミア機関との共同研究および学内・産学連携のプラットフォームとして幅広く活用し、我が国の創薬基盤研究の推進に貢献していきます。

代謝物の網羅的な測定を指向するメタボローム研究の大きな目的の一つは、表現型に最も近い低分子化合物の代謝動態を網羅的かつ定量的に解析し、生物機能との関連を明らかにすることです。本プロジェクトでは、それぞれの分析対象に応じて最適化されたメソッドを構築し、生体制御に関わる代謝ネットワークの解明、新しい生理活性物質や創薬標的の探索、医薬品の薬効や体内動態などのメカニズム解明など多岐にわたる病態・バイオロジー研究への応用を目指します。

※ ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※ 本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部等に送信させていただいております。

・研究内容についてのお問い合わせ先

慶應義塾大学薬学部 代謝生理化学講座 教授

有田 誠 (ありた まこと)

TEL/FAX : 03-5400-2677

E-mail : arita-mk@pha.keio.ac.jp 研究室 HP : <http://keio-pha-pcm.jp/>

・本リリースの配信元

慶應義塾広報室 (渡辺)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

E-mail : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>

参考資料

1. 慶應義塾大学薬学部創薬研究センター（センター長 三澤日出巳教授）

慶應義塾大学薬学部（東京都港区）では、2014年に創薬研究センターを設立し産学官の連携拠点として創薬研究の高度化と人材育成に取り組んできました。その活動拠点として「創薬研究センター・ラボラトリー」を整備し、薬学部をはじめ慶應義塾大学内の幅広いエキスパートの参画のもと、先端研究の実施と研究戦略の科学的立案に取り組むネットワーク・ハブを形成しました。これらの取り組みは、現在までに、特許出願や企業との共同研究に結びつくなどの成果を挙げています。この度、特定の先端創薬研究や先端技術開発に向けたコンソーシアム構築と高度化のための、プロジェクト制を導入し、研究スペースの拡張や主幹教員の配置など、さらなる運営体制の強化に努めています。

<http://www.pha.keio.ac.jp/research/rcdd/index.html>

2. 株式会社島津製作所（代表取締役社長 上田輝久）

1875年に創業。本社は京都市中京区。社は「科学技術で社会に貢献する」を掲げて、分析計測機器や医用機器、航空機器、産業機器を製造販売しています。液体クロマトグラフ質量分析計やガスクロマトグラフ質量分析計、イメージング質量顕微鏡などは、様々な企業や研究機関におけるメタボローム研究に使用されています。

<https://www.shimadzu.co.jp/>

3. 小野薬品工業株式会社（代表取締役社長 相良暁）

1717年創業。大阪府大阪府中央区に本社を置く、医療用医薬品に特化した研究開発型の製薬企業。

<https://www.ono.co.jp>

4. 日東薬品工業株式会社（代表取締役社長 北尾哲郎）

京都府向日市に本社を置く、製薬企業。1947年の創立以来、乳酸菌、酪酸菌をはじめとする有用腸内細菌の培養とその機能性研究、さらには腸内細菌が産生する代謝物（ポストバイオティクス）の研究に注力。これらの研究成果を基に今回のプロジェクトでは腸内細菌脂質代謝物による新薬の創製を目標とする。

<https://www.nitto-pharma.co.jp>